

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2012年12月20日

No.8

平成25年3月ダイヤ改正の提案を受ける!

中央本部は12月20日10時より、平成25年3月ダイヤ改正について提案を受けました。

今回のダイヤ改正について会社は、吹田貨物ターミナル開業と隅田川駅改良工事完成を最大限活用した「白紙ダイヤ改正」として、経営自立を目指すターニングポイントと位置付けています。

貨物労組は組合版ロードマップの実現に向けて、貨物改革の3本柱を基軸に安易な要員削減・縮小均衡の施策は認めず、「安全・健康・ゆとり」を基軸とした安全最優先の職場風土を確立するために取り組みます。平成25年3月ダイヤ改正の主な内容は以下の通りです。

《平成25年3月ダイヤ改正の主な内容》

1. コンテナ輸送

- ①吹田ターミナル開業・百済駅改良及び隅田川駅改良工事完成に伴う列車新設・輸送力増強
- ②オーダーマイド列車の新設、JR31ftコンテナ輸送の本格化
- ③中長距離帯列車の輸送体系の再構築（パターンダイヤ構築・列車速達化）中継ルート改善
- ④首都圏シャトル列車の新設
- ⑤I-T-EMデータを活用した新たな輸送体制の構築
- ⑥日本製紙石巻工場復興に伴う石巻線輸送力確保（震災前の輸送力を確保）

2. 車扱輸送

- ①石油元売り各社の経営統合に基づく輸送体系の見直し
- ②仙台臨海鉄道・仙台北港駅復旧に伴う石油臨時列車の定期列車化

3. その他

- ①トラック活用（ORS化）羽前水沢、鶴殿（広域集配化）東能代ORS
- ②駅設備改良（架線増設）梶ヶ谷貨物ターミナル、京都貨物

4. 列車計画の規模

- ①列車キロは現行と比べ、1日あたりコンテナ列車が5,600kmの減、車扱列車が1,000kmの増で、合計すると4,600kmの減となります。
- ②年間の輸送量は、コンテナ列車で2,196万トン、車扱列車で912万トン、合計で3,108万トンとなり、対前年比で+32万トンとなります。

5. ダイヤ改正日 平成25年3月16日（土）

平成25年ダイヤ改正は「白紙ダイヤ改正」として、2大ターミナルの完成を最大限活用したダイヤとなっていますが、一方で不採算列車の大幅見直しによる列車キロが減少するなど効率性に傾注した内容となっています。

中央本部は縮小均衡ありきの施策は認めません。また、これまでの懸案事項である①震災を教訓とした危機管理体制の確立。②収入拡大に向けた営業体制の強化。③安全を担保できる余裕ある要員配置の実現。④異常時における貨物列車運行の確保。⑤2分乗継の解消。⑥W泊の解消や在宅・折り返し休養時間の改善。⑦現場における教育体制の確立と教育担当者の配置。⑧積付検査時分の確保。を明らかにしていきます。今ダイヤ改正交渉を通じて組合版ロードマップの実現に向けて団体交渉を取り組みます。

以上